

第1692号

1

2026年
ISSN 0039-4866

水産総合月刊誌 明治25年 9月26日第三種郵便物認可 令和7年12月25日印刷納本
令和8年1月1日発行(毎月1回1日発行 第1692号)

水産界

- ◇ 令和7年度水産功績者表彰式挙行
- ◇ 第44回全国豊かな海づくり大会



第44回海づくり大会で稚魚を放流される天皇皇后両陛下 (写真提供：JF全漁連)

ハラルビジネスでニッチトップ戦略 ③4

世界中におよそ20億人存在するといわれるイスラム教徒。その膨大な人口を背景に、ハラルマーケットは今、輸出・インバウンドの両面で急速に拡大しています。

本連載では、一般社団法人ハラル・ジャパン協会が推薦する、ハラルビジネスを実践する企業を取り上げ、今後の市場動向とその可能性を掘り下げてまいります。

企画：一般社団法人ハラル・ジャパン協会 ホームページ：<https://jhba.jp>

日成興産株式会社

大阪に本社を置き、40年培った確かな研究と技術で素材の開発から製造、販売までフルサポートを行う健康食品及びサプリメントのOEM、ODM企業。

「家族にすすめたい品質を世界市場へ」
～日成興産OEM工場がハラル認証を取得～
安心・安全な「家族に勧めたい品質」を大切に、豊かな商品を作り続ける日成興産のOEM工場。自社工場を持たない企業にとって必要不可欠な存在であり、さらにハラル認証取得済みとなるOEM/ODM工場は、海外輸出を円滑に進める上で大きな強みとなります。今回、そんな大きな一歩を踏み出した背景やハラル認証取得の取り組み、今度の展望について藤田社長にお話を伺いました。



——Q.1 ハラル認証を取得されたきっかけを教えてください。

世界のムスリム人口は今や約20億人規模に拡大しており、健康食品においても「安心して摂取できる品質」が求められています。当社は創業以来、「家族にすすめたい品質」を理念に製造を続けてきました。その品質基準を、海外のお客様にも同じレベルで提供したいと考えたことが、ハラル認証取得のきっかけです。

——Q.2 認証取得にあたり苦労した点はあるですか？

まず、原料の由来を細かく確認し、調達先から加工工程まで遡及する必要がありました。次に、製造ラインの洗浄手順や区画の明確化など、工程全体をハラル基準にそって再設計する必要がありました。ただ、本気で向



き合ったことで、当社全体のトレーサビリティ精度が向上し、ムスリムのお客様に限らず、すべてのお客様により高い品質保証を提供できるようになりました。

——Q.3 ハラル対応の商品についてご紹介いただけますか？

現在はバルク出荷のため、最終製品は無い状態です。ただ、最終製品として試作レベルでモロヘイヤをインドネシア向けで現在着手しております。受託している案件としては、今後はママのミルクケア（ハラル認証）授乳期のお母さんの栄養バランスをサポートするサプリメントの製造を進めていきます。

- ・NMN（ハラル対応仕様）シニア層や美容志向の方に向け、活力とエイジングケアをサポートします。
- ・ハラル青汁プレミアム植物由来100%。日常の食生活に自然に取り入れられる健康青汁です。

——Q.4 主な輸出先はどちらでしょうか？

現在は、マレーシア・インドネシア・シンガポール・UAEを中心に展開しています。現地の代理店様やドラッグストアと連携し、「日常の健康習慣に取り入れられるサブリ」として提案しています。

——Q.5 今後の展望を教えてください。

ハラル専用ラインの拡張、現地語パッケージ対応、医療関係者との連携によるエビデンススペースの展開を強化していきます。最終的には、「安心できる品質を、世界の日常へ」という理念のもと、アジア・中東での存在感をさらに高めていきたいと考えています。医薬品、化粧品に関してはフェーズで言う今後のプログラムと考えています。

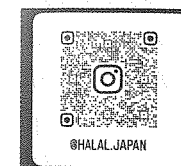
——Q.6 最後にひとこと、読者の皆様へ

健康食品・サプリメントのどんな商品でも品質管理を徹底して質の良いものを製造しています。ハラル商品にも対応可能ですので、ぜひ一度ご相談ください！

*ハラル・ジャパン協会を応援してください！

Instagram：<https://www.instagram.com/halal.japan?igsh=MWI3enIycjh0ZTRkgb==>

Facebook：<https://www.facebook.com/halaljapan/#>



いいね・フォローよろしくお願いします！

（一社）ハラル・ジャパン協会 事務局 広報PR 株本あいか